

[山中文部科学審議官が本校を視察されました。](#)

投稿日時: 2012-04-11 10:28:18 : [平成23年度の話題](#)

3月30日に山中伸一文部科学審議官、文部科学省から黒沼教育課程課課長補佐及び児玉専門教育課高等専門学校係長が本校を訪問されました。

奈良宏一校長から本校の概要と東日本大震災からの復興状況を説明いたしました、その後、各学科棟、学生寮、校内施設を見学頂きました。各部署で教育・研究の状況、復興状況を担当者が説明しました。



技術職員からNCフライス盤の説明を受ける山中文部科学審議官(左)機械実習工場



物質工学科柴田教員から研究成果の説明を受ける山中文部科学審議官（左から二人目）

[0コメント](#)

[平成23年度福島工業高等専門学校協力会奨学金贈呈式を開催](#)

投稿日時: 2012-04-06 14:44:25 : [平成23年度の話題](#)

福島工業高等専門学校協力会（中山哲男会長）の平成23年度奨学金贈呈式が、3月15日(木)に行われました。同会は、福島高専の教育・研究活動の支援・地域の振興事業を継続的に行うために福島県、宮城県、茨城県の企業様、地方自治体様、商工会議所様を会員として構成された組織です。

平成16年度から、本校専攻科学生を対象とした奨学金制度を設けて頂いております。平成23年度の奨学生として専攻科生6名が奨学金の贈呈を受けました。式の中で小野聡美さん(ビジネスコミュニケーション学専攻)がお礼のことばを述べました。



奨学金贈呈の様子



お礼のことばを述べる小野さん（写真左）

[0コメント](#)

[準天頂衛星みちびき実証実験に参加\(報告\)](#)

投稿日時: 2012-03-29 10:29:27 : [平成23年度の話](#)

独立行政法人 宇宙航空研究開発機構 (JAXA)は、様々な人工衛星を打ち上げています。その一つにカーナビなどの測位情報を提供する準天頂「みちびき」があります。地上での測位誤差を1m以内に抑えるために安定運用が求められますが、その実証実験に本校天文部と化学愛好会が参加しました。この取組は「みちびきアート」として高校生むけの教育プログラムとして実施されました。それらの成果がJAXAのプロジェクトチームによりポスターが製作され、本校に届きました。3年生までの学生が、準天頂衛星「みちびき」の電波を受信しながら、地上にメッセージを描きました。東日本大震災と原発事故により大きなダメージを受けた2011年の福島、2012年は、福島の新たなスタートの年にする、福島は復帰する→福起 などいろいろな気持ちを込めて「みちびきメッセージ」を描きました。化学愛好会は豊間海岸で福起を、天文部は郷ヶ丘でSTART、、中央台で福起の文字を描きました。



[リンク みちびきアート\(JAXA\)](#)

[0コメント](#)

[科学の甲子園\(全国大会\)に出場しました\(報告\)](#)

投稿日時: 2012-03-28 14:02:24 : [平成23年度の話](#)

3月23日から26日まで第一回 科学の甲子園(全国大会 主催 独立行政法人 科学技術振興機構)が兵庫県立総合体育館で開催されました。大会には全国の都道府県の代表校(47校)と全国予選を勝ち抜いた1校(特別枠)の48校が参加しました。本校は物質工学科1年生(8名)が全国予選を勝ち抜き特別枠で出場権を獲得しました。大会では、数学、物理、化学、情報、生物、地学の6分野から出題される筆記試験、化学と生物に関する2つの実験、総合競技(2種目)が行われ、各部門での得点と総合点を競いました。競技終了後には、根岸英一先生(ノーベル化学賞受賞者)の講演会、参加者の交流会も行われました。



大会に出場した本校チーム(物質工学科1年生 3月23日 開会式)



筆記競技(3月24日 午前)



実験(化学 3月24日 午後)



総合競技1（3月25日 午前）



根岸英一先生の講演(3月25日)

[0コメント](#)

[放射線測定講習会を開催](#)

投稿日時: 2012-03-27 12:57:42 : [平成23年度の話題](#)

福島高専では、文部科学省の「大学等における地域復興のためのセンター的機能整備事業」に採択されたことを受け、地域復興のための「地域の放射線計測及び地域企業復興技術相談」に対応するため、本校教職員に対して、放射線に対する正しい知識を理解させ、放射線計測を正確に実施することが出来ることを目的として、標記の講習会を3月22日（木）に開催しました。

講習会は、日本原子力研究開発機構の福島技術本部福島環境安全センターの職員が講師となり、「放射線管理計測の実際」と題して講義を行い、実際に放射線測定器を使用して食塩・昆布・きなこ等に含まれるカリウムの放射線量の測定実習も行いました。

今後、福島高専は新たに設置した「福島高専地域復興支援室」を中心に、地域復興に向けたさまざまな活動を教職員一丸となって実施する予定です。



講師による講義の様子放射線測定器による測定実習

[0コメント](#)

[第7回専攻科修了式第46回卒業証書授与式を挙行了たしました](#)

投稿日時: 2012-03-19 17:44:27 : [平成23年度の話](#)

平成24年3月16日、平成23年度の修了式と卒業式を行いました。奈良校長から修了生に修了証書、卒業生に卒業証書が授与されました。皆さんがそれぞれの場所で頑張ることが日本の復興に繋がることだという言葉が象徴する復興元年の式となりました。



奈良校長から修了証書を受け取る修了生

当日の様子をダイジェストでご覧下さい。

[Windows media形式](#)

[mp4形式](#)

[0コメント](#)

[海外産業事情視察\(報告\)](#)

投稿日時: 2012-03-19 16:36:43 : [平成23年度の話](#)

長岡技術科学大学と本校が連携して実施している「社会の多様化とグローバル化の進展に対応した戦略的技術者育成?高専と協働する技術者育成アドバンスコース?」の一つのプログラムとして、長岡技大教員と高専教員が各国へ6名の高専生(福島, 小山, 長岡, 富山, 福井, 香川)を引率してベトナムとマレーシアの産業事情視察に参加しました。

参加者:ベトナム(3月7日?13日, 機械工学科 准教授 鈴木茂和, 機械工学科5年 西間木悠輔)

マレーシア(3月8日?14日, 機械工学科5年 柏村健介)

現地の経済状況をJETROやJICAの担当者から説明を受け, 日系企業の見学と現地で日本語を学んでいる

学生との交流行事に参加しました。

また、現地で勤務されている技術者の方々から、海外での勤務の様子や現地スタッフの教育など直面している問題や課題などのお話を伺って視察に参加することで、国内から海外にも関心を持つことができました。また、現地の方々や学生との交流では、言葉、コミュニケーションの重要性を再認識するとともに、様々な刺激を受けて帰国することができました。

長岡技術科学大学アドバンスコースHP: <http://adc.nagaokaut.ac.jp/>



[ペトロナスツインタワーを背景に記念撮影](#) [ハノイ工科大学学生との交流](#)

[0コメント](#)

[第4回発明発見教室「DNAを取りだそう」開催](#)

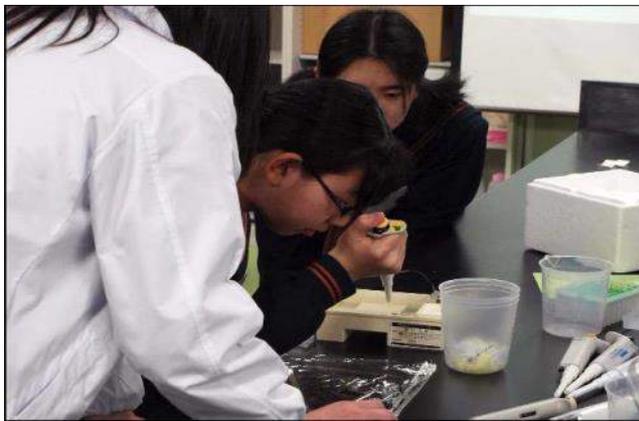
[投稿日時: 2012-03-15 10:22:04](#) : [平成23年度の話](#)

[本校では、3月11日\(日\)に物質工学科棟生化学実験室において、第4回発明発見教室「DNAを取り出そう」\(主催:福島高専・いわき市、共催:NPO法人タッチ・ザ・サイエンス\)を行いました。](#)

[\(指導:物質工学科教授天野仁司、物質工学科学学生1年生4名、3年生2名\)](#)

[これは、タマネギやバクテリアからDNAを取り出し、その性質や遺伝子との関係を、実験を通して学ぶものです。タマネギの細胞が、DNAの情報で作られたタンパク質によって活発に活動しているところを観察したり、取り出したDNAがマイナスの電気を帯びていることを、プラスの電気を帯びた色素と結合させる実験で確かめたりしました。また、バクテリアが光るのは、導入された小さなDNA分子が原因であることを電気泳動で調べました。](#)





[タマネギからDNAを抽出 バクテリアのDNAを電気泳動](#)

[0コメント](#)

[平成23年度第2回参与会を開催](#)

[投稿日時: 2012-03-15 09:49:23](#) : [平成23年度の話題](#)

[福島高専では3月5日\(月\)平成23年度第2回参与会を開催しました。参与会は本校の教育研究活動等の状況について、外部有識者による助言・提言等を頂き、自己点検・評価に関する活動を支援することを目的として開催しています。参与は教育研究機関・地域産業経済界・同窓会等の有識者ら9名で構成されており、会長には\(独\)国立高等専門学校機構参与で北海道情報大学学長の長谷川淳氏が就任しています。今回の参与会では、平成23年度、大学等における地域復興のためのセンター的機能整備事業に採択された復興人材育成事業内容、専攻科の改組についてそれぞれ説明があり、活発な意見交換が行われました。参与からは、地域復興へ向けての本校の取組みに多くの期待が寄せられました。](#)



[プレゼンテーションの様子意見交換の様子](#)

[0コメント](#)

[参加旗が届きました。](#)

[投稿日時: 2012-03-14 16:20:04](#) : [平成23年度の話題](#)

[今月24日から開催される第1回科学の甲子園の参加校に準備された参加旗が届きました。本来なら、参加者一同記念の撮影となるのですが、課題を解決するために試行錯誤の奮闘中です。開会式では48番目の入場となります。会場は兵庫県立体育館です。](#)



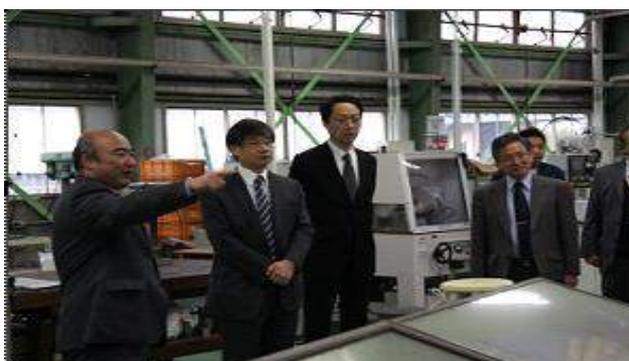
[0コメント](#)

常盤高等教育局審議官が福島高専を視察

投稿日時: 2012-03-05 16:02:34 : 平成23年度の話

[常盤高等教育局審議官が2月23日\(木\)に福島高専を訪問し東日本大震災からの復興状況を視察しました。](#)

常盤高等教育局審議官は、奈良校長から本校の被災状況及び今年度採択された「大学等における地域復興のためのセンター的機能整備事業」の概要等について説明を受けた後、いわき市内の津波による被災状況と学内の損傷した建物・亀裂が入った道路等の復旧状況を視察するとともに、専攻科生による減災工学分野の調査・研究や実習工場における工作加工機器等の状況説明を受けました。このたびの視察には文部科学省から神宮大学振興課課長補佐が随行しました。



[専攻科生の調査・研究を視察する](#)

常盤審議官（左2人目）

[実習向上で説明を受ける](#)

常盤審議官（左2

いわきフラオンパク・サイドイベント

投稿日時: 2012-03-02 16:08:40 : 平成23年度の話題

震災から1年を迎える日に私たちが住むいわき市の歴史に触れながら、町をきれいにする活動に参加しませんか。

昭和20年代半ば、いわき市では24時間体制で石炭が掘り出されていたと言います。

かつて、日本のエネルギーを支えるべくフル稼働していた施設は、その役目を終え、今はひっそりと眠っています。

これらはいわきの産業遺産として重要な施設であるにもかかわらず、周辺はゴミが散乱し目を背けたくなる場所があります。

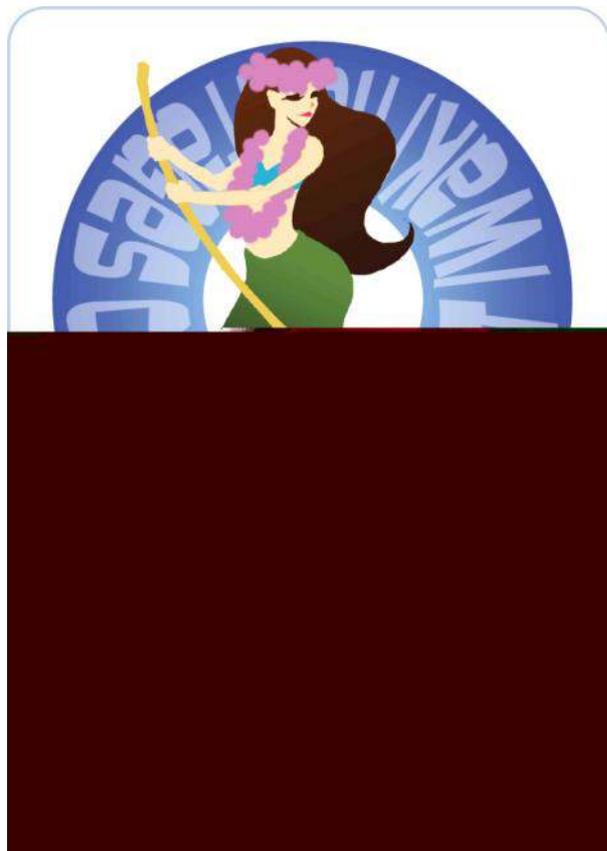
炭坑跡をいわき市の産業史として伝承し、さらに産業遺産としてこれからのいわき市の発展に繋げるために、土木学会若手の会の有志で結成された「CERJU35」と本校建設環境工学科の高荒研究室が協力し、「いわきお掃除ウオーク&グッズ開発プロジェクト」を開催します。炭坑跡が広く受け入れられるような魅力あるグッズを開発し、炭坑跡をキレイにお掃除しましょう！（3/11はガイドさんの解説付きで炭坑遺産を巡ります）

今こそ炭坑跡を産業遺産として蘇らせ、いわきの未来を応援しよう！！

親子での参加も大歓迎！炭坑を知らない方の参加も大歓迎！

多くの方のご参加をお待ちしています！！

問い合わせ:電話46-0826(平日10時?14時)



女子学生を対象としたキャリア講演会を実施

投稿日時: 2012-02-29 15:23:26 : 平成23年度の話題

福島高専では、2月17日(金)に、株式会社飛馬で2級キャリアコンサルティング技能士として活躍中の奥寺絵里さんと、ノエビア福島の方々を講師として、本科3・4年生の女子学生を対象としたキャリア講演会を実施

しました。奥寺さんは本校コミュニケーション情報学科第三期卒業生であり、普段は本校の女子支援室相談員として、女子学生の就職指導にあたっています。

演題は『いきいきと心身を磨く』をテーマに、これからはじまる就職活動と社会人としての身だしなみについて講演を行いました。

企業から見た採用活動はどんなものか、これからの面接活動に向けて備えるべきことはどんなことかを、ご自身の経験をふまえてわかりやすく説明しました。参加した学生は熱心にメモをとり、身だしなみがいかに大切かがよくわかった等の意見が出されました。また、ノエビア福島の方々が女子学生をモデルにしたメイク実技では、普段メイクに関心がないという女子学生もモデルの変化を見て、相手にあたえる影響の違いを新たに認識しました。



講演会の様子

メイク実技

[0コメント](#)

[科学の甲子園に出場します](#)

投稿日時: 2012-02-29 10:02:08 : 平成23年度の話題

春の選抜が行われる甲子園球場近くで、もう一つの甲子園、第1回科学の甲子園が開催されます。本校の1年生が全国予選を勝ち抜いて参加します。毎日新聞に記事が掲載されていますので、ご紹介します。出場する学生たちは提示された課題に取り組んでいます。科学の甲子園の主催者は科学技術振興機構です。科学の甲子園については、こちらをご覧ください。科学の甲子園、開会まであと24日になりました。

[0コメント](#)

[時計について](#)

投稿日時: 2012-02-02 12:11:48 : 平成23年度の話題

時計は時間を知るためのありふれた一般的な道具です。腕時計、柱時計、目覚まし時計、時計を持たない人でも携帯電話などで時間を確認していることでしょう。見慣れた時計ですが、写真のようなちょっと変わった時計を校内で見つけました。何か変ですよね、わかる人にはわかる？ これ本当に時計なの？ という声も聞かえそうですが、日本標準時を示す立派な(?)電波時計です。現在、日本にあるのはこの時計1台だけです。ということは世界に唯一、ユニークな時計です。文字盤の秘密、時計の面白さが伝われば良いのですが。

[な被害からの復興を願って作成した千羽鶴が、本田技研工業株式会社を通して本校に寄贈されました。現在、本校正面玄関に展示していますのでぜひご覧ください。](#)



[展示中の千羽鶴](#)

[学生たちと記念撮影](#)

[0コメント](#)

[第11回中学生ロボット競技会を開催しました](#)

[投稿日時: 2012-01-19 17:09:46 ; 平成23年度の話](#)

[1月9日\(月\)に、第11回中学生ロボット競技会を開催しました。](#)

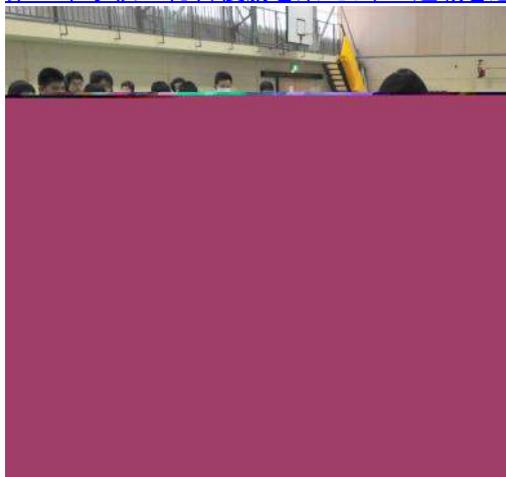
[\(主催:福島高専・いわき市、後援:福島県教育委員会、指導:機械工学科長 渡辺敏夫、他\)](#)

[この競技会は、本校が主要部品を中学校に提供し、A4用紙サイズ以内のロボットを作製し、基本競技と応用競技の2種類の競技を実施するものです。](#)

[1\)登坂競技\(基本\):登坂を含む7mの直線コースの走行タイムで順位を決めます。](#)

[2\)つみき競技\(応用\):フィールド中央に置かれたつみき\(50mmの立方体、直径30mmの貫通穴付き\)を所定の場所に積み上げます。](#)

[今回、9校の中学校、17チームの応募があり、当日も多くの方々にご参加いただきました。競技では、小名浜第一中学校が総合優勝を果たし、三連覇を達成しました。](#)



[競技会の様子](#)

[0コメント](#)

[最終予選に進みました。第14回 全国中高校生Webコンテスト](#)

投稿日時: 2012-01-16 10:54:23 : 平成23年度の話

高専プロコンで活躍したプログラミング研究会の3年生以下の学生で構成されたチームが標記Webコンテストでファイナリストに選定され、最終選考に向け開発、改良に取り組んでいます。

[ファイナリスト 最終選考作品](#)

[第14回全国中高校生Webコンテスト](#)

表彰式は3月3日です。最終締め切りはまもなく、素晴らしい作品を期待したいものです。

[0コメント](#)

[第3回発明発見教室「手作りカメラで撮影会」を開催しました](#)

投稿日時: 2012-01-16 09:43:54 : 平成23年度の話

1月8日(日)に、第2回発明発見教室「手作りカメラで撮影」を開催しました。

(主催:福島高専・いわき市、共催:NPO法人タッチ・ザ・サイエンス、指導:物質工学科教員天野仁司、物質工学科1年生5名、専攻科2年生1名、NPO法人3名)

この教室は、いわき市の小中学生を対象とした科学・工作教室で、写真の原理を学び、実際にピンホールカメラを製作して、写真を撮影しました。構造が簡単なカメラで写真をとるには、調整が大切で、受講者は、撮った写真を見て、もっと綺麗な写真を撮るにはどうすればよいか、いろいろと工夫するなどして、レンズのないピンホールカメラとは思えないような作品をたくさん生み出していました。



[作業の様子](#)

[受講者の作品](#)

[0コメント](#)

[第1回「科学の甲子園全国大会」に出場します。](#)

投稿日時: 2012-01-15 00:39:03 : 平成23年度の話

科学の甲子園(主催(独)科学技術振興機構(JST))は、高等学校、高等専門学校の1,2年生が8名のチームで参加し、理科・数学・情報における複数分野での問題解決能力を競う大会です。全国から選抜された科学好きな高校生と高専生が集い、個人ではなくチーム力を競う大会です。第1回大会は3月23日から26日まで兵庫県で開催されます。この大会に本校の物質工学科1年生8名のチーム(スターorz)が見事に全国予選を勝ち抜き、特別枠で参加することが決定しました。科学の甲子園につきましては、こちらをご覧ください。本校チームの活躍に期待したいものです。

[0コメント](#)

[第3種放射線取扱主任者講習会を開催しました](#)

投稿日時: 2012-01-10 09:02:57 : 平成23年度の話

本校では、文部科学省の「大学等における地域復興のためのセンター的機能整備事業」に採択されたことを受け、本校教職員を対象として、放射線に対する正しい知識を理解させることを目的に、第3種放射線取扱

主任者免状講習会を12月26日(月)27日(火)の2日間にわたり実施しました。

講習会では、日本原子力研究開発機構原子力人材育成センターの職員等が講師となり、放射線等の概論・安全管理・人体に与える影響・法律等の講義を7時間受講後、放射線量の測定実習が3時間行われました。最終日には修了試験があり、受講した27名が合格しました。

今後、本校では、新たに設置した「福島高専地域復興支援室」を中心に、地域復興に向けたさまざまな活動を、教職員一丸となって実施する予定です。



講義の様子

放射線量の測定実習

[0コメント](#)

第2回発明発見教室「光るクリスマスツリーを作ろう」を開催しました

投稿日時: 2011-12-20 13:55:51 ; 平成23年度の話

12月18日(日)に、第2回発明発見教室「光るクリスマスツリーを作ろう」を開催しました。

(主催:福島高専・いわき市、共催:NPO法人タッチ・ザ・サイエンス、指導:物質工学科教員 天野仁司、物質工学科1年生9人、NPO法人1人)

この教室は、市内小学生を対象とした光と蛍光を学ぶ工作教室で、紫外線LEDと蛍光物質を使って紙製の光るクリスマスツリーを作成しました。参加者は、暗闇で幻想的に輝くクリスマスツリーに感動していました。今回は応募者多数のため、予定より回数を増やし実施しました。午前・午後合わせて64名に参加いただきましたが、それでも多くの方に参加いただけませんでした。来年度は今年度より日数を増やし開催する予定です。





製作の様子 光るツリー(実際はもっと色とりどりです)

[0コメント](#)

「第4回先端ものづくりチャレンジ2011イン習志野」に参加しました

投稿日時: 2011-12-20 11:00:10 : 平成23年度の話

12月11日(日)に、千葉工業大学津田沼キャンパスで行われた「第4回先端ものづくりチャレンジ2011イン習志野」の知能ロボコン部門に、分子生物学愛好会の知能ロボット研究グループが参加しました。今回は、震災により例年6月に行われる仙台での大会も中止となりましたので、来年に向けてロボットの開発途中での参加となりました。

(チーム名:堀越ふみちゃんRainbow、マシン名:改・ふみちゃん、チームメンバー:3C小林翠、3I笠原渚子、1C岩崎莉歩、1C菅原佳奈、(当日欠席:3C鈴木彩美、3C松崎優香))

競技では、調整が十分ではなく、3台の連携がうまくできませんでしたが、デモンストレーションでの3台それぞれの動きから審査員に将来性を評価していただき、デザイン賞をいただきました。



競技の様子 デザイン賞を受賞

[0コメント](#)

東北地区高専英語スピーチコンテストで本校の学生が優勝しました

投稿日時: 2011-11-24 16:06:08 : 平成23年度の話

11月19日(土)に仙台高専広瀬キャンパスで行われた第三回東北地区英語スピーチコンテストで、コミュニケーション情報学科1年の有本温子さんが優勝しました。有本さんは、1月28,29日に行われる全国大会に出場します。

スピーチタイトルは、「The Power of Social Networking Services」です。有本さんは、ツイッター等のソーシャル・ネットワーキング・サービスの有効性について、自分の経験に基づいた視点を展開し、1年生ながら見事に優勝を果たしました。



優勝した有本さん(写真中央)

0コメント

応援ありがとうございました。高専ロボコン2011 準優勝

投稿日時: 2011-11-20 21:29:18 : 平成23年度の話

11月20日、高専ロボコンの聖地、国技館で全国高等専門学校ロボット競技大会が開催されました。東北地区代表として出場した福島高専チームは準優勝しました。皆様、応援ありがとうございました。

決勝戦で仙台高専(名取キャンパス)チームに惜しくも敗れてしまいましたが、準優勝という見事な結果を残すことができました。福島駅伝でいわき市チームが優勝した同じ日に、本校チームも持てる力を十分に発揮し大会を終えることができました。ご声援、ご支援頂きました皆様に御礼を申し上げるとともに、準優勝のご報告をいたします。

大会の詳細はロボコンチームが戻りましてからご報告いたします。

0コメント

平成23年度「オープンキャンパス」を開催しました

投稿日時: 2011-11-16 16:23:33 : 平成23年度の話

11月3日(木・祝日)、一般市民を対象とした平成23年度「オープンキャンパス」を開催しました。当日は、時折小雨の降るあいにくの天候にもかかわらず、500名を超える市民、なかでも中学生やその保護者が来校して本校校舎や施設を見学しました。特に、今年度高校受験を控える受験生やその保護者を対象に設けられた「入試相談コーナー」には、午前10時の開場とともに多くの相談者が途切れることなく訪れました。本校の概要や入試制度、卒業後の進路等について質問し、その回答を熱心に聞き入っている姿が印象的でした。応対した教員からも「今年度は相談者が多く、また質問も一歩踏み込んだものが多くて例年以上に熱心さを感じた。」という感想が聞かれました。

また、当日は「福島県中学生ブリッジデザインコンテスト」、午後には本科2年生による「ミニ研究発表会」、さらにはいわき駅前のホテルを会場に「二足歩行ロボット『アシモ』製作者による講演会」と3イベントを同時開催として実施し、来場者からは「高専のことをあらためて知る良い機会で大変有意義な催しだった。」と好評でした。全ての催しを合わせた延べ来場者数は最終的に750名を超えるなど、大変盛況な催しになりました。





各学科紹介コーナー

同時開催の中学生ブリッジデザインコンテスト

上

[0コメント](#)

オープンキャンパス 終了しました。

投稿日時: 2011-11-14 09:44:14 ; 平成23年度の話

11月3日(木) オープンキャンパスを開催しました。

専門学科の研究紹介、学習内容の紹介、受験相談、ミニ研究発表会などを行いました。

ご来場くださった皆様ありがとうございました。

[0コメント](#)

平成23年度第1回参与会を開催しました

投稿日時: 2011-11-03 17:08:51 ; 平成23年度の話

11月1日(火)、平成23年度第1回参与会を開催しました。参与会は本校の教育研究活動等の状況について、外部有識者による助言・提言等を頂き、自己点検・評価に反映することを目的に開催しています。本校の参与には教育研究機関・地域産業経済界・同窓会等の有識者9名の方々にお引き受け頂いております。会長には(独)国立高等専門学校機構参与で北海道情報大学学長の長谷川淳氏に就任しています。今回の参与会では、「平成22年度の実績の自己評価と平成23年度の計画とその実施状況」について検討をいただきました。本校評価担当の渡辺敏夫校長補佐が前回の参与会指摘事項に対する回答も含めて説明を行いました。奈良宏一校長から東日本大震災による本校の被害状況と対応、復興に対する本校の取組について説明を行いました。参与の方々からご助言や提言を頂きました。



参与に説明する奈良校長

意見交換の様子

[0コメント](#)

防災訓練を実施しました

投稿日時: 2011-10-21 17:23:16 : 平成23年度の話題

10月19日(水)に、平消防署員立ち会いのもと防災訓練を実施しました。

訓練は、震度5弱の地震が発生し、二次災害として火災の発生を想定して行われ、全学生(当日欠席者除く)約1,050名と教職員が参加しました。

今年の訓練では東日本大震災の経験を活かし、例年以上に各自真剣に取り組みました。避難終了後の講評では消防署員から、人数に対して速やかな対応ができていたとの話がありました。

また、部分訓練では、火災時における煙への対処法を学ぶ煙体験訓練と、消火器を使用した消火訓練が行われました。



第一グラウンドに避難する様子

消火器を使用した消火訓練

[0コメント](#)

貼り付け元 <<http://www.fukushima-nct.ac.jp/modules/news/index.php?storytopic=19>>

高専ロボコン東北地区大会で、本校Aチームが優勝し、全国大会への出場が決定しました。

投稿日時: 2011-10-17 12:13:57 : 平成23年度の話題

10月16日(日)に、八戸高専第一体育館(青森県八戸市)で行われたアイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2011東北地区大会で、本校のAチーム(ロボット名:最強砲(サイキョウキャノン))が優勝し、全国大会出場権を獲得しました。また、Bチームはデザイン賞を受賞しました。

(競技課題:「ロボ・ボウル」)

<成績>

Aチーム(リーダー 4M高橋大地さん) 優勝(全国大会出場)セーフティーデザイン賞

Bチーム(リーダー 5M菅家麻美さん) デザイン賞

高専ロボコンチーム指導:機械工学科教員 鈴木茂和、電気工学科教員 山本敏和

ロボット製作指導:ロボット技術研究会指導教員

震災とその後の原子力事故などで様々な混乱があり、ロボット技術研究会の学生達の活動時間も限られ、夏休みや休日返上でロボットの製作を続けてきました。競技を行ったのは、各チーム3人ですが、製作や整備・調整は、ロボット技術研究会の学生が一丸となって取り組んだ成果です。次は、全国大会。本選に向けて彼らのパワーとチームワークに、もう一段の飛躍を期待しましょう。

高専ロボコン2011東北地区大会のテレビ放送は、11月6日(日)15:05?15:59(東北6県:NHK総合)です。全国大会は、11月20日(日)両国国技館(東京)で行われます。詳細は[NHKのロボコン公式HP](#)をご覧ください。

なお、来年2012年の東北地区大会は、いわきで行われる予定です。詳細が決まり次第本校HPでお知らせいたします。



優勝を決めた瞬間

成果を手にした本校の遠征団

[0コメント](#)

[平成23年度いわき地区高等学校写真展が開催されました](#)

投稿日時: 2011-10-14 09:15:46 : [平成23年度の話題](#)

平成23年度いわき地区高等学校写真展が10月3日から5日までいわき市生涯学習センターで開催されました。審査の結果、本校写真部出展作品から特選1点、準特選1点、入選5点の7点が入賞いたしました。入賞作品と出展者は以下のとおりです。

特選 薄磯海岸?鎮魂の響き? 1M:田熊さん
準特選 桧原の黎明 3C: 大家さん
入選 虹の溪流 3C: 大家さん
入選 月見どろぼう 1M: 田熊さん
入選 想いを乗せて 1M: 田熊さん
入選 離れ離れになったみんなへ 1E:小川さん
入選 立ち入るべからず 1E:小川さん

入賞した写真部の学生たちのコメントとして、受賞を励みに、これからも良い写真を撮ることが出来るように日々努力していきたい、積極的に撮影に取り組んで、さらなる技術力、感性の向上に努めていきたいなど、非常に積極的な声を聞くことができました。また、コーチなどサポートへの感謝の声もありました。



入賞した写真部学生

[0コメント](#)

[「街コン」の写真展をアリオスで開催しています](#)

投稿日時: 2011-10-03 18:25:57 : [平成23年度の話題](#)

2009、2010年に開催された「いわき街なかコンサート」の様子を本校写真部が撮影していました。それらの作品を「街コン写真展」として公開しています。

ぜひ、ご覧下さい。

日 時: 9月22日(木)・10月24日(月) 8:30~22:30

場 所: いわき芸術文化交流館 アリオス

入場料: 無料

いわき芸術文化交流館 アリオスのHPにも掲載されています。

<http://www.iwaki-alios.jp/cd/app/index.cgi?CID=event&TID=PAGE&dataID=00814>



街コン写真展の様子

[0コメント](#)

[本校機械工学科1年生の大友一生さんが競泳で国体に出場しました](#)

投稿日時: 2011-10-03 09:47:29 : [平成23年度の話題](#)

[大友一生さん\(機械工学科1年\)は、先日、山口県で開催された第66回国民体育大会に福島県代表として出場しました。出場種目は水泳競技\(競泳\)少年男子B100m平泳ぎでした。](#)

[国体では、オリンピックや世界水泳などで活躍するトップスイマー達を間近にして大いに刺激を受けたそうです。残念ながら決勝進出できませんでしたが、1分6秒95という自己ベストの更新を記録として残せたそうです。](#)

[大会直前は、福島県高等学校新人体育大会水泳競技大会と福島県代表の強化合宿、国体終了後には前期末試験が始まるなど、過密スケジュールとなっていますが、大友さんは充実した時間となったことでしょう。今後のご活躍を期待しております。](#)



国体に出場した大友さん

[0コメント](#)

[平成23年度福島高専協力会定期総会を開催しました](#)

投稿日時: 2011-09-28 10:29:39 : 平成23年度の話題

去る9月13日(火)、いわきワシントンホテル椿山荘において、平成23年度 福島高専協力会定時総会を開催しました。例年、5月に開催していましたが、今年は東日本大震災により開催を延期しておりました。総会では、産学官連携推進支援、教育研究活動の整備・拡充支援などを内容とする今年度の事業計画等を決定しました。総会后、奈良校長より「東日本大震災復興へ向けた福島高専の取組」について説明があり、続いて原田地域環境テクノセンター長より「地域の復興支援に向けた取り組み」の事例発表が行われました。その後、協力を代表して小名浜製錬所 小名浜製錬所 正木常勤顧問副所長 及び 東日本計算センター 鷲代表取締役社長より、東日本大震災対応を含めた本校への期待と要望等が述べられました。



協力会定期総会の様子

[0コメント](#)

[「ベイン・キャピタル高専奨学金プログラム」奨学生証書伝達式を行いました](#)

投稿日時: 2011-09-16 10:49:19 : 平成23年度の話題

9月9日(金)、「ベイン・キャピタル高専奨学金プログラム」奨学生証書伝達式を行いました。この奨学金は東日本大震災で被災した東北地区の国立高等専門学校の学生の修学支援するためにベイン・キャピタル社の寄付により創設されました。奨学金は学生一人あたり月5万円で、本年4月から卒業または修了する最短修業年限まで支給されます。

この奨学金は、東日本大震災復興支援のための募金プログラム(主催 米国法人日本国際交流センター及び公益財団法人日本国際交流センター)によって発足したものです。

本校から5名の学生が奨学生に採用されました。一人一人に奈良校長から奨学生証書が手渡されました。



奈良校長から奨学金証書の伝達

[0コメント](#)

[被災地域復興を支援する「ものづくり分野の人材育成・確保事業」に採択されました](#)

投稿日時: 2011-09-08 09:38:47 : 平成23年度の話題

本校の機械工学科を中心とし、福島県やいわき市、大熊町、広野町等の自治体、日産いわき工場、スタンレーいわき製作所、いわき明星大学と連携して、全国中小企業団体中央会の公募事業である「ものづくり分野の人材育成・確保事業(ものづくり担い手育成事業)」に「3次元ものづくりの高度化と機械加工の基礎に関する研修」として事業申請した結果、採択されました。

本事業の目的は、被災した中小企業の経営再建のために従業員の技術力と知識の向上を図り、会社全体の競争力を高めると共に、被災者の雇用機会拡大に貢献することを目的としています。本事業を通じて、原発事故避難区域(双葉町・大熊町・富岡町・楢葉町・広野町)と被災地であるいわき市及び近隣市町村と福島県の復興に貢献します。

具体的には、以下の3つの講座を10月?1月に6回実施します。

?金属加工基礎コース:金属加工未経験者を対象とし、汎用旋盤を使用してテーパゲージ(技能検定3級課題相当)の加工を行う。

?3次元ものづくりコース:3次元CADによる設計と解析手法を習得し、CAMを用いたNCデータの作成と工作機械による加工、3次元測定機と3次元CADデータを活用した3次元形状測定を経て、より良いものをつくるためには何処をどのように工夫すれば良いかを考える力を身につけてもらう。

?塑性加工コース:講義と実技を通じて、塑性加工分野で急速に普及している油圧サーボプレスの使用方法を習得してもらう。

詳細については決定次第随時ホームページにて公開します。

【問い合わせ先】

機械工学科 鈴木茂和

e-mail mono2011@attsic.fukushima-nct.ac.jp (アットを@に修正してください)

[0コメント](#)

[平成23年度コマツ奨学金奨学生証書伝達式を行いました](#)

投稿日時: 2011-09-07 14:21:57 : 平成23年度の話題

9月5日(月)、平成23年度コマツ奨学金奨学生証書伝達式が行われました。

この奨学金は、株式会社小松製作所が東日本大震災復興支援の一環として、将来の日本のモノづくりを担う学生の就学支援を目的に、独立行政法人国立高等専門学校機構に寄附された奨学基金で、東北・北関東地方にある被災した国立高等専門学校の学生に対して給付されます。奨学金は学生一人あたり月5万円で、本年4月から卒業または修了する最短修業年限まで支給されます。本校から16名の学生が奨学生に決定し、奈良校長から奨学生代表に奨学生証書が手渡されました。

伝達式に引き続いて行われた懇談会では、来賓の株式会社小松製作所日置政克常務執行役員から激励のご挨拶をいただいた後、奨学生から感謝の言葉や今後の進路希望を語るなど懇談が行われました。



奈良校長から奨学生証書の伝達

[0コメント](#)

[第1回発明発見教室「ゲルマニウムラジオを組み立てよう！」を開催しました](#)

投稿日時: 2011-09-07 11:56:10 : 平成23年度の話

[震災のため、開催が延期されていた第1回発明発見教室「ゲルマニウムラジオを組み立てよう！」を9月4日\(日\)に開催しました。この教室は、いわき市との提携事業であり、毎年開催するものです。\(主催:福島高専、いわき市、共催:NPO法人 タッチ・ザ・サイエンス\(高専卒業生が運営する科学教室のNPO法人\)\)](#)

[本年度は部品を改善し、全員がはっきりした音を聞くことができました。電源のないラジオから聞こえてくる音声に、参加者は大変感動している様子でした。](#)

[なお、今年度は今後この教室を\(毎回内容は異なります\)を3回実施する予定です。](#)



[ゲルマニウムラジオの組み立て](#) [ラジオを聴いている様子](#)

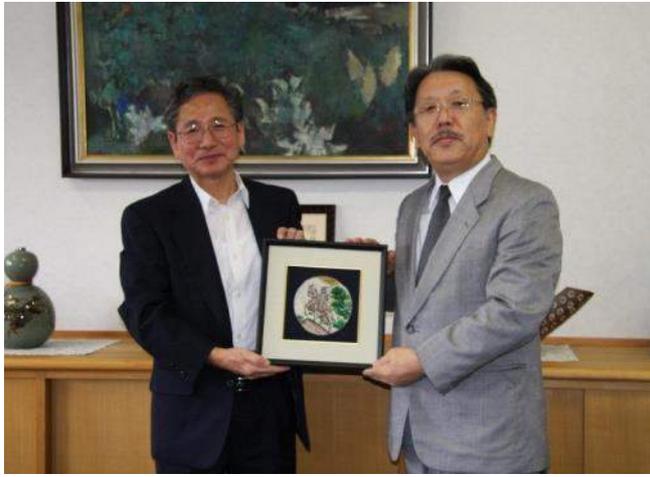
[0コメント](#)

[東北工業大学今野副学長が震災見舞いのため来校されました](#)

投稿日時: 2011-09-06 17:59:32 : 平成23年度の話

[東北工業大学今野副学長が去る9月5日に、東日本大震災と原発事故での被災に対するお見舞いのため来校されました。](#)

[東北工業大学と本校は平成22年2月に学術交流及び地域貢献に関する協定を締結しており、当日は、仙台市およびいわき市の被災状況等の話題を中心に奈良校長と原田副校長とで懇談をしました。また、東北工業大学から伊達政宗公が描かれた陶器が贈呈されました。](#)



左:奈良校長 右:今野副学長

[0コメント](#)

[平成23年度知的財産に関する講習会を開催しました](#)

投稿日時: 2011-08-03 13:26:26 : 平成23年度の話題

高専機構と長岡技術科学大学、豊橋技術科学大学の3者が協力して地域の産官学の連携や技術開発、研究シーズのマッチングを推進するために、高専?技科大連合スーパー地域産学官連携本部を設置しています。その活動の一環として7月27日(水)、連携本部から発明コーディネータの清水榮松氏(弁理士)を講師として、「平成23年度知的財産に関する講習会」を開催しました。

講演の中で、他高専の出願状況、特許によるライセンス収入、出願の方法(発明届の書き方)について丁寧な説明が行われました。講演後、参加者から特許の申請時に注意すべきことなどについて質疑応答も行われました。



[知的財産について説明をする清水弁理士](#)

[0コメント](#)

[本校一般教科 磯上准教授が原田研究奨励賞を受賞しました](#)

投稿日時: 2011-08-02 08:49:24 : 平成23年度の話題

このたび本校一般教科 磯上慎二准教授が公益財団法人 本多記念会から「原田研究奨励賞」を受賞しました。受賞論文は「極薄トンネル障壁層界面構造の改善による強磁性トンネル接合の低抵抗・高出力化」というタイトルで、論文では、ハードディスクの大容量化の限界が心配されていましたが、それを払拭する画期的な新技術を提案したものです。この研究は東北大学大学院在籍中の磯上先生が富士通?との産学共同研究として進められたものです。

公益財団法人 本多記念会は、日本の物理冶金学の創始者として世界的な業績を残している故本多光太郎博士の学徳を永く顕彰する記念財団です。原田研究奨励賞は、東北地区の大学、研究機関及び高等専門学校等に在職する35才以下の研究者で、金属及びその周辺材料に関する研究・教育を行い、優れた成果・教育的貢献が顕著な将来性豊かな研究者に贈られています。

受賞報告では、磯上先生は「これからも社会に貢献できる技術を生み出すことを目標に研究に励みたい」と話されました。



[受賞した磯上准教授\(左\)と奈良校長\(右\)](#)

[0コメント](#)

[磯田高等教育局長が震災による被災状況を視察しました](#)

投稿日時: 2011-07-14 16:12:38 ; 平成23年度の話

[磯田高等教育局長が去る7月8日\(金\)に本校を訪問し、東日本大震災による本校の施設・設備等の被災状況を視察しました。](#)

[磯田高等教育局長は、奈良校長から本校の被災状況の概要及び地域復興に向けての支援体制等について説明を受けた後、学内の損傷した建物・亀裂が入った道路等の被災状況を視察するとともに、専攻科・各学科・実習工場における教育・研究状況の説明を受けました。](#)

[視察には文部科学省から秋庭専門教育課長補佐、高専機構から木谷理事が同行しました。](#)



[奈良校長から守衛所の被災状況の説明を受ける磯田高等教育局長\(右端\)](#)

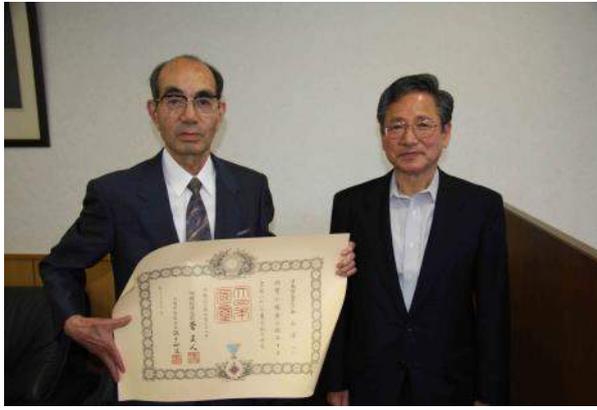
[0コメント](#)

[本校名誉教授の中山淳一先生が瑞宝小綬章を受章されました](#)

投稿日時: 2011-07-07 13:59:22 ; 平成23年度の話

[本校名誉教授の中山淳一先生は、平成23年度の春の叙勲者として、「瑞宝小綬章」を受章されました。6月29日\(水\)に受章の報告のために本校を訪問され、奈良宏一校長と渡辺敏夫機械工学科長と懇談されました。先生は本校創立間もない昭和39年から平成7年まで機械工学科の教員として教育と研究に取り組まれました。先生のご専門は流体工学で、「流れの可視化」の研究や「渦巻きポンプ」の設計などに力を注がれました。](#)

[中山先生の受章を心からお祝いを申し上げますとともに先生の健勝をお祈り致します。](#)



中山名誉教授(左)と奈良校長

瑞宝小綬章

[0コメント](#)

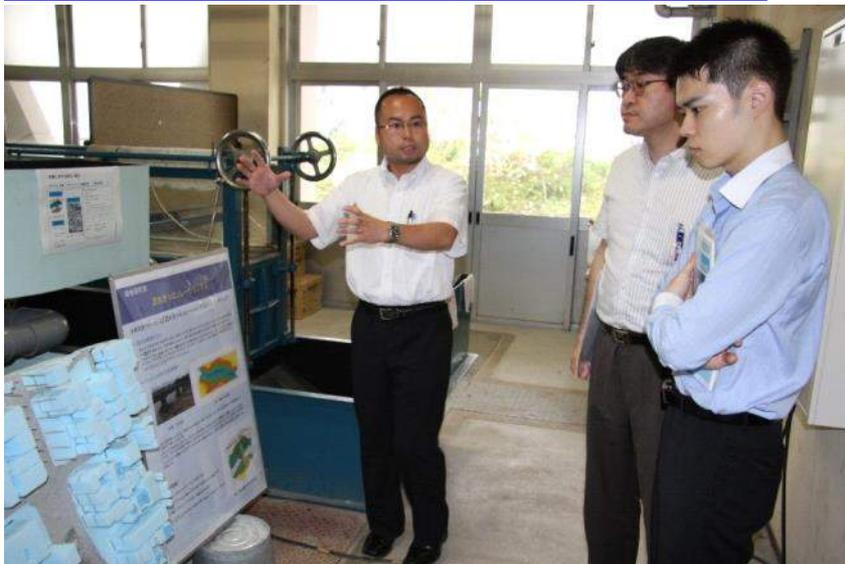
[内藤専門教育課長が震災による被害状況を視察しました](#)

投稿日時: 2011-07-06 14:09:07 : 平成23年度の話

[内藤専門教育課長が去る6月27日に福島高専を訪問し東日本大震災による本校の施設・設備等の被災状況を視察しました。](#)

[内藤専門教育課長は、奈良校長から本校の被災状況の概要及び復興に向けての支援体制等について説明を受けた後、学内の損傷した建物・亀裂が入った道路等の被災状況を視察するとともに、専攻科・各学科における教育・研究状況の説明を受けました。](#)

[視察には専門教育課の柿澤課長補佐が同行しました。](#)



[教員から津波に関する実験装置の説明を受ける内藤教育専門課長（右から二人目）と柿澤課長補佐（右端）](#)

[0コメント](#)

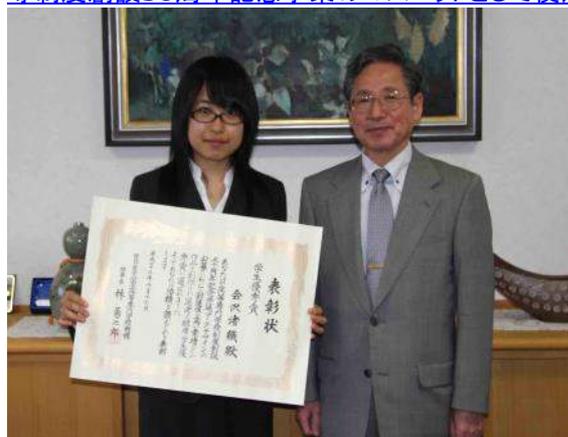
[高専制度創立50周年記念事業共通マスコットに本校専攻科生の作品が採用されました](#)

投稿日時: 2011-07-06 11:50:23 : 平成23年度の話

[1962年に本校を含めた12校の国立高等専門学校が開校しました。2012年は高専制度の創立50周年の](#)

年となります。(独)国立高等専門学校機構では、高専制度創設50周年記念事業を進めるなかで、事業のマークデザインを募集していました。審査の結果、本校専攻科生の会沢渚織さん(機械・電気システム工学専攻 2年)の作品が学生優秀賞に選ばれました。

会沢さんの作品は「進化する高専」をテーマとし、次世代へと生まれ変わるロボットをイメージしたもので、高専制度創設50周年記念事業のマスコットとして使用されています。



受賞した会沢さんと奈良校長

会沢さんの作品

[0コメント](#)

[福島工業高等専門学校後援会の定期総会が開催されました](#)

投稿日時: 2011-06-21 11:56:00 : 平成23年度の話

福島工業高等専門学校後援会は、本校在学生の保護者の皆様により1971年に設立され、本校の発展にご協力を頂いております。同会の平成23年度の定期総会が6月15日(水)に本校第一体育館で開催されました。

総会は、小松道男後援会会長と奈良宏一校長の挨拶から始まり、平成22年度会計報告と平成23年度会計予算案の提出と承認が行われました。平成22年度の報告では、震災により卒業式(修了式)後の祝賀会を中止したこと、被災した学生に義援金を贈ったことが報告されました。23年度は、室内運動施設の充実と福島高専創設50周年記念事業基金に重点的に予算の配分をしたことが説明されました。

また、震災による学生や校舎などの被災状況と今後の対策、特に懸念される放射線への対応など、奈良校長から説明が行われました。



会のはじめに挨拶をする小松後援会会長

[0コメント](#)

[平成22年度福島工業高等専門学校協力会奨学金贈呈式を行いました](#)

投稿日時: 2011-06-14 14:35:34 : 平成23年度の話

6月9日(木)、福島工業高等専門学校協会(中山哲男会長)の奨学金贈呈式が行われました。同会は、本校の教育・研究活動の支援・振興事業の一つとして平成16年度より専攻科学生を対象とした奨学金制度を設けています。

今回は、平成22年度専攻科1年(現2年)4名に奨学金が贈られました。

奨学生を代表して物質・環境システム工学専攻の丹野 淳さんがお礼のことばを述べました。



[0コメント](#)

入学式を挙りました

投稿日時: 2011-05-13 11:47:09 : 平成23年度の話

東日本大震災の影響で延期されていた入学式を5月8日(日)に挙行いたしました。

式に先立ち、今回の震災で亡くなられた方へ1分間の黙祷(もくとう)を捧げました。式では奈良宏一校長が236名の新入生に入学許可を与え、「今回のこの苛酷な経験と教訓を忘れずに記憶し、同じ悲劇を繰り返えすことがないように、本校で学ぶ専門知識を社会に生かしていくことを期待しています。」と式辞を贈りました。本科と専攻科の新入生の代表が入学者宣誓を行いました。

来賓に(独)国立高専機構の五十嵐一男理事、新原皓一長岡技術科学大学学長(「皓」は、正しくは「日に告」、小松道男福島高専後援会長をお迎えし、五十嵐理事、新原学長から激励の挨拶をいただきました。





[校長式辞](#)

[本科入学者による宣誓](#)

[0コメント](#)

貼り付け元 <<http://www.fukushima-nct.ac.jp/modules/news/index.php?storytopic=19&start=30>>